

最近の調剤医療費（電算処理分）の動向

平成 24 年 8 月

○ 概要

(1) 平成 24 年 8 月の調剤医療費（電算処理分に限る。以下同様。）は 5,335 億円（伸び率（対前年度同期比、以下同様。）0.7%）で、処方せん 1 枚当たり調剤医療費は 8,646 円（伸び率 0.1%）であった。（→P.1~2）

調剤医療費の内訳は、技術料が 1,349 億円（伸び率 3.0%）、薬剤料が 3,976 億円（伸び率▲0.1%）で、薬剤料のうち、後発医薬品が 401 億円（伸び率 19.5%）であった。（→P.4）

3要素分解 （→P.8-9）	処方せん1枚当たり 薬剤料	処方せん1枚当たり 薬剤料種類数	1種類当たり 投薬日数	1種類1日当たり 薬剤料
実数	5,398 円	2.84 種類	22.5 日	85 円
伸び率（%）	▲1.5	+0.4	+2.8	▲4.6

(2) 薬剤料の約 85%を占める内服薬（3,330 億円（伸び幅（対前年度同期差、以下同様。）▲29 億円）を薬効大分類にみると、21 循環器官用薬が 914 億円（伸び幅▲49 億円）と総額が最高で、39 その他の代謝性医薬品が伸び幅 26 億円（総額 417 億円）と伸び幅が最高であった。（→P.10）

年齢区分 （→P.10~13）	内服薬 総額 （伸び幅）	総額順（総額）		
		1 位	2 位	3 位
全年齢	3,330 億円 （▲29 億円）	21 循環器官用薬 （914 億円）	11 中枢神経系用薬 （542 億円）	39 その他の代謝性 医薬品（417 億円）
0 歳以上 5 歳未満	31.8 億円 （▲0.08 億円）	44 アレルギー用薬 （12.2 億円）	61 抗生物質製剤 （9.9 億円）	22 呼吸器官用薬 （4.2 億円）
5 歳以上 75 歳未満	2,099 億円 （▲28 億円）	21 循環器官用薬 （571 億円）	11 中枢神経系用薬 （349 億円）	39 その他の代謝性 医薬品（282 億円）
75 歳以上	1,200 億円 （▲0 億円）	21 循環器官用薬 （342 億円）	11 中枢神経系用薬 （193 億円）	39 その他の代謝性 医薬品（134 億円）

(3) 処方せん 1 枚当たり調剤医療費を都道府県別にみると、全国では 8,646 円（伸び率 0.1%）で石川県（11,007 円（伸び率▲0.8%））が最高で、佐賀県（7,237 円（伸び率 1.2%））が最低であった。

また、伸び率は岡山県（伸び率 2.2%）が最高で、福井県（伸び率▲1.9%）が最低であった。（→P.25~26）

【後発医薬品薬剤料】401 億円（伸び率：19.5%、伸び幅 65 億円）（→P.34）

【後発医薬品割合】（→P.33）

	後発医薬品割合	伸び幅
数量ベース	28.5%	+5.3%
薬剤料ベース	10.1%	+1.7%
（後発品調剤率 ^注 ）	51.5%	+4.3%

注）全処方せん枚数のうち後発医薬品を調剤した処方せん枚数の割合

【後発医薬品 年齢階級別】（→P.34~35）

	全体	最高	最低
後発医薬品薬剤料の伸び率	+19.5%	+24.4% （75 歳以上）	+3.7% （0 歳以上 5 歳未満）
後発医薬品割合（薬剤料ベース）	10.1%	11.1% （65 歳以上 70 歳未満）	5.6% （10 歳以上 15 歳未満）

【後発医薬品（内服薬） 薬効分類別】（→P.36~37）

	全体	最高（薬効大分類）
総額	359 億円	96 億円（21 循環器官用薬）
総額の伸び幅	+63 億円	+21 億円（21 循環器官用薬）
総額の伸び率	+21.4%	+112.8%（11 中枢神経系用薬）

年齢区分 （→P.36~40）	内服薬 総額 （伸び幅）	総額順（総額）		
		1 位	2 位	3 位
全年齢	359 億円 （+63 億円）	21 循環器官用薬 （96 億円）	23 消化器官用薬 （73 億円）	39 その他の代謝性 医薬品（36 億円）
0 歳以上 5 歳未満	2.5 億円 （+0.06 億円）	22 呼吸器官用薬 （0.77 億円）	61 抗生物質製剤 （0.65 億円）	44 アレルギー用薬 （0.49 億円）
5 歳以上 75 歳未満	222 億円 （+34 億円）	21 循環器官用薬 （63 億円）	23 消化器官用薬 （42 億円）	39 その他の代謝性 医薬品（27 億円）
75 歳以上	135 億円 （+29 億円）	21 循環器官用薬 （33 億円）	23 消化器官用薬 （31 億円）	11 中枢神経系用薬 （15 億円）

【後発医薬品 都道府県別】（→P.50~54）

	全国	最高	最低
処方せん 1 枚当たり後発医薬品薬剤料	650 円	928 円（岩手県）	511 円（佐賀県）
処方せん 1 枚当たり後発医薬品薬剤料の伸び率	+18.7%	+26.7%（鳥取県）	+7.9%（沖縄県）
後発医薬品割合（数量ベース）	28.5%	41.6%（沖縄県）	23.6%（徳島県）
後発医薬品割合（薬剤料ベース）	10.1%	13.7%（鹿児島県）	7.7%（徳島県）
後発医薬品調剤率	51.5%	65.6%（沖縄県）	45.5%（徳島県）

〔利用上の留意点〕

(1)分析対象レセプトの特徴

- 審査支払機関（社会保険診療報酬支払基金及び国民健康保険団体連合会）において、レセプト電算処理システムで処理された調剤報酬明細書のデータを分析対象としている。
- 平成 24 年 8 月現在の電算処理割合は、処方せん枚数ベース、医療費ベースともに約 99%である。

(2)表章期間

- 平成 16 年 10 月調剤分からデータは収集しているが、伸び率の分析を主眼としているため、統計表上の表章期間は平成 17 年 10 月以降とした。